（日本産業規格Ａ列４番）

様式第１号（表）（第34条関係）

　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　年　　月　　日

稲城消防署長 殿

住　所

申告者　　　職業（職）　　　　　　　　電話

氏　名

不動産り災申告書

|  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- |
| １ | り災年月日　 | 年　　月　　日 | り災物件と申　告者との関係 | 所有者・管理者・占有者 |
| り災場所 | 　　　　　　　　　　　　市　　　　　　　　　　丁目　　　　　　　　　番地　　　　　　　　　　　　 |
| ２ | 建築・購入年月日 | 建築又は購入金額 |
| 推定・記録・記憶 | 推定・記録・記憶・不明 |
| 　　　年　　　月 | １㎡（坪）当たりの金額（円） | 総金額　　　（円） |
|  |  |
| ３ | 取　得　後　の　経　過 |
| 修繕・改築 | 年　月 | 修繕・改築した箇所 | 修繕・改築に要した金額（円） |
| 　　年　　月 |  |  |
| 増築 | 年　月 | 増築の概要 | 増築面積（㎡） | 増築に要した金額 |
| 　　年　　月 |   |  |  |
| ４ | り　災　前　の　建　物　詳　細 |
| 建物の用途 | 屋　　根 | 外　　壁 | 階　　数 | 延べ面積（㎡） |
|  |  |  |  |  |
| 居住世帯数 | 世帯 | 居　住　人　員 | 　　　人 |
| ５ | 建物・収容物以外のり災状況 |
| り災物件名 | り災の別 | 数量又は面積 | 経過年数 |
|  | 焼・爆・他 |  | 年 |
|  | 焼・爆・他 |  | 年 |
|  | 焼・爆・他 |  | 年 |
| ６ | 火　災　保　険　の　契　約 |
| 契約会社名 | 契約年月 | 保険金額（円） |
|  |  |  |
|  |  |  |
|  |  |  |

様式第１号（裏）

不動産り災申告書記載要領

（１の欄）

り災物件と申告者との関係は，あてはまるものを○で囲んでください。

（２の欄）

１ 建築，購入年月，金額の欄は，記録（帳簿や契約書など）によって明らかなもの

なのか，推定によるものかなど，あてはまるものを○で囲んでください。

２ 金額の欄は，建物を取得した当時の土地の価格を除いた１㎡当たりの金額と，総 金額を円単位で記入してください。

（３の欄）

１ 取得後の経過の欄は，建物を取得してから, 規模の大きな建物の修繕，改築，又

は増築があった場合に記入してください。

２ 修繕・改築・増築の欄は，いつ，どこの部分を，どのくらい（㎡）, 修繕，改

築，増築し，いくら（金額）かかったかを記入してください。

年 月 修繕等した箇所 金 額

例）改築 平成２年８月 １階事務所部分 30㎡ 3,532,500 円

例）増築 昭和59年４月 ２階住宅 20㎡ 1,520,000 円

（４の欄）

１ り災前の建物詳細の欄は，建物の用途，屋根，外壁の構造材，階数，延べ面積を

記入してください。

用 途 屋根 外 壁 階 数 延べ面積

例） 住 宅 日本瓦 モルタル ２階建 75 ㎡

例） 店舗・住宅 亜鉛鉄板 石綿セメント板 ３階建 135 ㎡

２ 居住世帯数・居住人員の欄は，建物内すべてに居住する世帯と人員を記入してく

ださい。

（５の欄）

１ 建物・収容物以外のり災状況の欄は，建物・収容物以外の庭木類，塀などがり災

した場合に記入してください。

２ り災別の欄は，あてはまるものを○で囲んでください。

１ 焼：火災によって焼けた物及び熱によって炭化，溶融，又は破損したものなど

２ 爆：爆発により，壊れたものなど

３ 他：消火のために受けた水損，破損，汚損など，煙により汚れたものなど，運

び出す時に壊れたものなど

（６の欄）

１ 火災保険の加入が数社ある場合は，すべて記入してください。

２ 保険金額は，契約会社別に円単位で記入してください。

備 考

１ この申告書は，消防法第34条に基づいて提出を求めるものです。

２ この申告書は，り災した建物１棟について１枚を使用してください。

３ この申告書は，り災した日から起算して７日以内に提出してください。

４ あなたに連絡する場合の連絡先の電話がありましたら，その電話番号を記入して

ください。

５ 火災によるり災証明を発行する場合，この申告書が出ていると早く発行すること

ができます。